

なにわ名物 開発研究会 NEWS

会場「こと」大大阪へ

タイムトリップ!

10月26日、ナンバの戎橋商店街東側にある精華小劇場は、熱気ムンムン。「モダンシティふたたびin精華」は、6時半の開演でした。6時過ぎにはほぼ満席の状態。300人を超える人が、道頓堀ジャズに、無声映画に、New OSKの若手劇団員のレビューに酔いしれたのです。また、本年度なにわ大賞受賞者である「たなかやすこ」さんにも出演をお願いし、大阪弁で語られる懐かしい大阪のまち風景にも思いを巡らせました。

特別例会
10月26日
モダンシティふたたび in 精華

これぞ「大大阪」の再現

このイベントは、前年度12月に「真冬の夜の夢・新世界モダンシティふたたび」として通天閣歌謡劇場で第1回を行いました。本年度は会場をナンバに移し、モダン音楽祭やミナミ活性化委員会などと協力して「ミナミ芸術祭」の一環として開催するにいたったものです。なにわ名物開発研究会が大阪の活性化の一翼を担って、大阪が最も輝いていた時代を再現し、新しい文化の発信を実現したことに大きな意味があると考えます。前年度に続く、野杵代表・灰谷副代表コンビの司会ぶりにも磨きがかかり、和やかでスムーズな進行となりました。また、難波利三先生にご挨拶も願い、一段と格調高いものとなりました。来場されたみなさんが、会場内に設置されたカフェブースやモダンシティ大阪のパネル展示を興味深く見ておられたのも印象的です。

会員・各方面からの 多大なる協力に感謝!

会員の皆様をはじめ、各方面の方に無理なお願ひも快諾していただきました。運営、集客、広告協賛など多方面からのご協力ありがとうございました。お力添えにより成功裏に終わることができました。「モダンシティふたたび事業」を通して、大阪が文化産業都市として復活する起爆剤とできた喜びを、スタッフとして感じた次第です。

- 出演者(順不同)：アンタツチャブル、New OSK日本歌劇団、たなかやすこ、旭堂南陵と太平洋、星弄楽団、大阪楽団、吉川裕之
- 演出：野田泰久
- 構成：古川武志
- 司会：野杵育郎(代表幹事)、灰谷幸(副代表幹事)

※以上敬称略



このコーナーの原稿は、(有)経営支援 オフィスB・A・N 石川史雄が担当しました。(総務部部长)



来場者コメント 大大阪の「まちつかい」に幸あれ

私は大阪楽団目当てで来たのだが、なるほど地元、さすが場を讀んでいると感心してしまつた。出し物の素晴らしさはもとより、名物の食べ物もあるし懐かしさの展示もあり、少しアマチュアっぽい展開などもバネにして、ごつちやな味を実に暖かく創り出していた。最近、「まちつかい」という言葉を使っているが、まさに近代遺産である大大阪やモダンシティをいまこそやんちゃに使う！とこの企画は主張しているのだった。

(京都橋大学 文化政策学部教授)



小暮宜雄さん

ここは、難波のど真ん中にある小学校の体育館だった。だから、関西の小劇場演劇の中心となつたいまも、場自体が、PTAや同窓会などに通じる、どこか雑多だけれど、身近で愉快な雰囲気をも求めている。

<第21号>
2007年2月1日発行

発行
なにわ名物開発研究会
編集 広報部

QRコード
機種によっては読み取れない場合もございます。

●本部
大阪市中央区難波1-7-2
SENOYAビル3F
TEL・FAX (06) 6213-5554
http://www.naniwa-meibutsu.com/

●事務局(会議や諸事連絡)
大阪市中央区本町橋2-23
第七松屋ビル1231
TEL (06) 6947-5260
FAX (06) 6947-5254

入会について

- 入会金■
10,000円 (正会員)
5,000円 (協力会員)
- 年会費■
36,000円 (正会員)
12,000円 (協力会員)

第9回なにわ大賞 贈呈式



受賞者のみなさん
おめでとうございます

- 【大賞】
 - ・たなかやすこ
- 【準大賞】
 - ・大小路界限(夢)倶楽部
 - ・つまようじ資料室
- 【大阪21世紀協会賞】
 - ・都島区貴志康一
記念事業運営委員会
- 【石浜恒夫記念賞】
 - ・西俣稔
- 【特別賞】
 - ・宇野晶
 - ・河村信幸
 - ・こいさんず
 - ・松村長二郎
 - ・淀屋研究会

(敬称略)

「ドンパ」提供
株式会社
岸本吉二商店
(会員)



展示コーナーには、大阪をテーマにしたレコードも並びました。希少価値の高いものが多く、「珍しい」「懐かしい」と、来場者の注目を浴びました。



「ドンパ」で鏡開き。中から金銀のテープが飛び出し、場内から歓声が上がりました。写真左から順に、運営委員長・森一貫さん、大賞受賞・たなかやすこさん、選考委員長・難波利三さん。

第1回に特別賞を受賞
第9回は運営リーダーに

私たち「和太鼓 雅」は、第1回なにわ大賞の特別賞をいただきました。「賞をもろて」という意味の「もろてく式」の会場は、中之島にある中央公会堂・特別会議室でした。その時は受賞会場の素晴らしさに圧倒されると同時に、なんとなく応募して賞をいただき、あ

あ、なんと大阪には、「ユニークな人たちが一杯いるんだなあ」と感じました。そして今回は、第9回なにわ大賞の運営チームリーダーということで、会場選びから選考委員の先生方による選考会がどのように行われているかを体験させていただきます、とても勉強になりました。

今回の応募は、50団体(個人)。その中から選考委員の先生方が、大阪らしいおもろい発想や活動履歴について真剣に討論し、「この活動にこそ賞をもろてもらいたい」との思いで、受賞者を決めておられました。運営に携わること、選考基準の面白さが改めてよくわかり、スタッフを含め皆さんが真剣に議論してい

特別例会
7月28日
第9回「なにわ大賞」
会場/シティプラザ大阪



毎回、会場選びは、「大阪らしさと話題性」を重視しています。今年度は、本町に7月7日にオープンしたばかりの「シティプラザ大阪」での開催となりました。

今年、「なにわ大賞」は、第10回という大きな節目を迎えます。大阪人らしい、自由でユニークな発想の方にどんどん応募していただきたいと思っております。

このコーナーの原稿は、和太鼓 雅 内田邦子が担当しました。(なにわ大賞運営チームリーダー)

特別例会
8月25日
サマーパーティ
会場/料亭「天王殿」

10周年記念の特別企画
夏の夜の濃厚なひと時

「なにわ大賞」の翌月にあたる8月。サマーパーティは会員相互の懇親は勿論のこと、歴代の受賞者や関係者が再度顔を合せて、懇親を深めてもらう事も目的の一つとしてあります。担当者の工夫、努力によ

って年々内容が濃くなり、参加者にとっても満足してもらえ事業(イベント?)になってきています。

当会が設立10周年を迎えたこともあり、大げさにも今年のサマーパーティは、「10周年記念」と冠をつけて案内をしました。冠をつけたからには、「記憶に残る、価値ある内容にしなければ」と、久し振り(?)に気合を入れて取り組みました。場所や内容も検討を重ね、会場の下見や交渉、出演者へのボランティア的な依頼など、いろいろ細かな事もありましたが、大半が予定通りに進みました。

区逢坂の料亭「天王殿」で、ご馳走をいただきましたながら、●文化的に「観世流能楽師・山本章弘氏による「石橋(しやつきよう)」を鑑賞。

●やつぱりお笑いも「阿保の小路たこまる」野村副代表の「漫談」。前座の漫才は、サントス島野&灰谷副代表。

●締めくくりは上方講談で「四代目を襲名されたばかりの旭堂南陵師匠による「怪談・お紺殺し」。特別出演の幽霊役は大熊事務局長。

ご協力、ご参加頂いた方々、ありがとうございます。



このコーナーの原稿は、島野珈琲株式会社 島野が担当しました。(平成18年度サマパ担当)

料亭 天王殿

1 美しい庭がある「天王殿」。今回の企画メンバーが下見に行き、ありえない値段交渉を…。大和専務が快く(潔く?)返事してくださり、逆にビックリ。

2 佐久間さん・武田さん・大西さんが完璧に受付準備。

3 初コンビの司会。石橋さん(左)と伊藤さん。

4 5 今回のサマパ限定の特別企画。舞台が終わった後の息遣いと、周囲に漂う緊張感にも圧倒されました。

6 7 8 四代目・旭堂南陵を襲名されて、初の講談との事(歴史に残りますね)。さすがに迫力がありました。大熊事務局長の幽霊写真は、怖くて載せられません…。

9 10 恒例(?)野村副代表の登場。1ヶ月間の練習にサントス島野もたびたびつき合わされ、引き立て役として「面白くない前座」をするハメに、寒い笑いを誘った素人トリオでした。

11 12 13 お開きは「大阪締め」で、

一般例会
9月26日
 講演&プチ懇親会
 会場/エル・おおさか

業界の「生き字引」から
 ホンネの話を聞く!

9月度の月例会は、商品開発部が担当しました。話を聞いてみたい方を講師としてお招きできるのは、月例会担当者の特権です。今回は、「観光Plus B!」(観光PB社発行)の統括プロデューサーをされている藤井士郎氏です。

30年にわたって全国の観光物産業界をくまなく取材され、この業界では「知る人ぞ知る」というよりも、「知らん人おらんやろ」といふほどの方です。観光物産に関する知識では右にも左にも並ぶ人がおらず、



実際の取材に基づく藤井氏の話は、ユニークで、説得力があるものばかり。

そんな「生き字引」講師をお招きしての講演とプチ懇親会でした。

藤井氏は業界紙に関わる前には、大阪で上方芸能・興業に関する仕事に携わっておられ、特に大阪の活性化・観光事業の将来については強い関心をお持ちです。今回の講演では

ホンネのおもしろい話をたっぷり聞かせていただきました。藤井氏の幅広いネットワークは、当会の事業にも多くの影響をもたらすものでもあり、今後もいろいろな形で交流を続け、アドバイスをいただきたいと思います。



このコーナーの原稿は、ベロス株式会社 藤井学が担当しました。(商品開発部部長)

参加者より



さすがは商品開発部会の月例会でんな〜。講師の藤井士郎さんとは、当社の先代社長の時代からお付き合いをさせていただいておりますが、改めて観光物産業界のお話を聞かせていただきました。特にご当地キャラクター商品の裏ネタなど、参考になるお話ばかりで、大変ありがとうございました。結論、「人のマネをしていては成功は無し!」

株式会社スマイル 山本武司

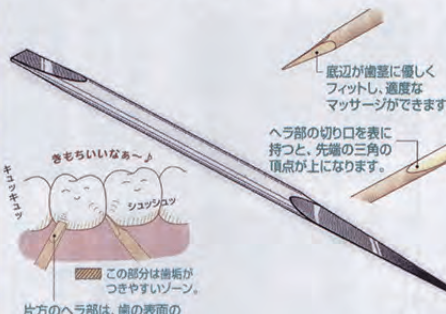
会員自己紹介

株式会社広栄社
 河内長野市上原町885
 電話 0721-52-2901
<http://www.cleardent.co.jp/>

創業1917年
 楊枝の専門メーカー

1924年に米国から製造機械を導入し、手作りから機械生産への道を拓き地場産業の基礎を築く。それまで利用されていなかった白樺材を活用。専門メーカーとして、絶えず製品の研究と開発を進め、輸出市場を開拓し国内市場にも多くの新製品を産みだす。

北欧の客先からの依頼による三角ようじ(テタルピック)は、1963年に製造機を自社で開発し、今日も海外へ輸出。わが国でも1988年より葉



局で販売している。また、簡便で使い易い歯間ブラシの開発を歯科医より受け、製造機を開発して販売。1990年、所属する日本歯科人間工学会でその使い易さを発表。2004年、日本人に馴染み易いように丸軸の先端を三角形に削った歯間ようじ(ドクターピック)を産官学連携で開発。世界初。つまようじの正しい使い分けを伝えるために、1990年、「つまようじ資料室」を開設し、一般公開している。

菓子は材料の質や加工段階での配合、温度、湿度などの加減によって仕上がり具合が違ってくる。最良の品質を保持するには、責任感のある職人の存在と、機械保全が欠かせない。水谷社長は、職人の責任感と工夫を生み出すために、機械の保全をすべて職人自身に任せている。

同社はこのほど「新大阪き」

企業DATA
 代表者/代表取締役 水谷英一
 事業内容/和洋菓子製造販売
 大阪府都島区内代町2-1-18
 TEL 06-6952-0553
<http://www.tomiya-seika.co.jp/>

石山史雄の
こなひじやはったるんす
 【第7回】富屋製菓(有)

新大阪駅で売れている土産菓子に「こいさん」がある。味・ネーミング・包装デザインとも洗練された、代表的な大阪土産である。富屋製菓は、和洋菓子を製造販売している老舗である。今後は土産品の域を超えて、百貨店で売れるブランド力を育てたい意向だ。

菓子は材料の質や加工段階での配合、温度、湿度などの加減によって仕上がり具合が違ってくる。最良の品質を保持するには、責任感のある職人の存在と、機械保全が欠かせない。水谷社長は、職人の責任感と工夫を生み出すために、機械の保全をすべて職人自身に任せている。

菓子は材料の質や加工段階での配合、温度、湿度などの加減によって仕上がり具合が違ってくる。最良の品質を保持するには、責任感のある職人の存在と、機械保全が欠かせない。水谷社長は、職人の責任感と工夫を生み出すために、機械の保全をすべて職人自身に任せている。

菓子は材料の質や加工段階での配合、温度、湿度などの加減によって仕上がり具合が違ってくる。最良の品質を保持するには、責任感のある職人の存在と、機械保全が欠かせない。水谷社長は、職人の責任感と工夫を生み出すために、機械の保全をすべて職人自身に任せている。

菓子は材料の質や加工段階での配合、温度、湿度などの加減によって仕上がり具合が違ってくる。最良の品質を保持するには、責任感のある職人の存在と、機械保全が欠かせない。水谷社長は、職人の責任感と工夫を生み出すために、機械の保全をすべて職人自身に任せている。

菓子は材料の質や加工段階での配合、温度、湿度などの加減によって仕上がり具合が違ってくる。最良の品質を保持するには、責任感のある職人の存在と、機械保全が欠かせない。水谷社長は、職人の責任感と工夫を生み出すために、機械の保全をすべて職人自身に任せている。

菓子は材料の質や加工段階での配合、温度、湿度などの加減によって仕上がり具合が違ってくる。最良の品質を保持するには、責任感のある職人の存在と、機械保全が欠かせない。水谷社長は、職人の責任感と工夫を生み出すために、機械の保全をすべて職人自身に任せている。

菓子は材料の質や加工段階での配合、温度、湿度などの加減によって仕上がり具合が違ってくる。最良の品質を保持するには、責任感のある職人の存在と、機械保全が欠かせない。水谷社長は、職人の責任感と工夫を生み出すために、機械の保全をすべて職人自身に任せている。

菓子は材料の質や加工段階での配合、温度、湿度などの加減によって仕上がり具合が違ってくる。最良の品質を保持するには、責任感のある職人の存在と、機械保全が欠かせない。水谷社長は、職人の責任感と工夫を生み出すために、機械の保全をすべて職人自身に任せている。

● 掲示板 ●

- 新入・正会員 (7月~12月度)**
 ■料亭「つる井」
 登録者名/澤井まき子さん
 大阪府中央区西心齋橋2-7-25
 TEL 06-6211-1019
 日本料理、仕出し、無料ギャラリー、食事文化サロン開催
 ■プランニングファクトリートモス
 登録者名/佐澤友哉さん
 西宮市大社町12-43-503
 TEL 0798-71-0655
 広告デザイン、SP、イベント企画、ダンボール玩具の企画・販売
 ■株式会社広栄社
 登録者名/稲葉修さん
 大阪府河内長野市上原町885
 TEL 0721-52-2901
 歯間清掃用具の製造、爪楊枝博物館運営
新入・協会員 (7月~12月度)
 ■株式会社タカチホ
 登録者名/市川尚人さん
 長野市大豆島5888
 TEL 026-221-6677
 土産品製造・卸
登録者名の変更
 ■「大阪府中小企業家同友会」の登録者名を中田一好さんに変更。
移 転
 「株式会社楽天軒本店」
 〒531-0072
 大阪府北区豊崎2-11-8
 TEL 06-6292-6668
 FAX 06-6292-6663
電話・FAX番号の変更
 「鎌田利幸」さん
 TEL 073-6945-3476
 FAX 06-6901-8776
組織・名称変更
 「ヤマモト物産」は、「株式会社スマイル」に社名変更になり、山本武司さんが代表取締役役に就任されました。
お祝い
 特別会員の旭堂小南陵さんが、4代目・旭堂南陵を襲名されました。おめでとうございます。
 ※事務局に連絡があった情報を掲載しています。

代表コラム

大阪都市協会の
解散を惜しむ



なにわ名物開発研究会
代表幹事 野村育郎

財団法人大阪都市協会が18年度末で解散する。大阪市政改革を行う大阪府管理団体評価委員会が、「各局からの業務委託が事業の大半であり、団体としての固有の使命を果たしていない」とみなしたのである。また、「文化関連事業の効果的な推進を図るため、文化関連事業等を文化施策担当団体へ移管するとともに、市民運動に関する事業についてはコミュニティ関係団体へ移管し、団体を解散するべき」と指摘した。

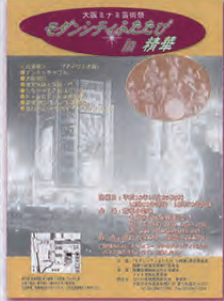
大阪都市協会は、大正14年10月21日に、「近代大阪の父」ともいわれる第七代大阪市長・關一氏によって創設された。第二次大阪府域拡張が実施され、市の面積がそれまでの3倍を超える、わが国第一の都市として「大大阪」が誕生したのである。協会設立の趣旨は、欧米先進国の大都市を模範としながら、市民会を母体とする「愛市団体」を組織すること。市民生活に関するさまざまな問題を調査研究して、市政の方針と動きを市民に伝達し、近代的な大阪のまちづくりにへの参加を促すというものであった。その歴史は長く、いまは月刊誌「大阪人」の編集発行や、大阪市の文化事業・市民活動を通してまちづくりを担うことも目的となっていた。当会主催の「なにわ大賞」も第一回から後援を受けてきた経緯がある。幸い「大阪人」の発行は都市工学情報センターへ引き継がれ廃刊を免れたものの、大阪都市協会の解散を惜しむ声は多い。

日本経済新聞が「大阪版意識からの脱却へ一歩」と紙面で論じたのも、都市協会解散指摘がなされた平成17年秋であった。この記事について、当会とも縁が深い古川武志さん（大阪市史料調査室は、『大大阪』の歴史的意義を理解しない、誤解に満ちた記述と指摘した。今回の協会の解散決定についても同じ思いが拭いきれない。確かに、委託業務が大半であったかもしれないが、そのことと解散を安易に結び付けるのはいかがなものか。いまこそ「大大阪宣言」の時代に思いを馳せて、「大大阪」が持つ本當の意味を熟知し、大阪の輝きと誇りを取り戻す時期であろう。

活動報告
総務部

10月、精華小劇場で
総務部パワーが炸裂！

総務部は最低月1回部会を開いています。主な活動内容は、月例会の進行打ち合わせ、企画の検討および「なにわ名物活性化」のための議論です。部員皆がそれぞれの意見を持っているので、非常に有意義



▲チラシや入場券も作成

な会議ができています。8月からは、10月に精華小劇場で行われました「第2回モダンシテイふたたび」について度重なる打ち合わせをし、会場の設営から進行まですべて総務部が担当しました。来て頂いたお客様に大変好評で、大成功を収めることができました（1面参照）。また部会終了後は、部員の交流を深めるために、毎回、親睦会を行っています。当会の仕組みがよく分かる総務部に、ぜひ一度遊びに来てください。



このコーナーの原稿は、富屋製菓有限公司 水谷英一が担当しました。（総務部副部長）

活動報告
ビジネス交流部

8月、サマーパーティー
10月は、勉強会を開催

担当例会として8月サマーパーティーの企画・運営を行いました。といっても、島野担当副代表が仕事そっちのけで力を入れてプロデュース（2面参照）。出演者と天王殿様のご協力により、皆様に楽しんで



▲日本橋駅から徒歩3分の大和屋本店



このコーナーの原稿は、株式会社岸本吉三商店 岸本敏裕が担当しました。（ビジネス交流部副部長）

活動報告
商品開発部

「現地見学会」に向けて
部内の幹部会を開催

恒例（年1回）の「現地研修見学会」を計画し、その打ち合わせとして商品開発部の幹部会を数回開催しました。日程は12月9日（土）、場所は嵐山十



▲打ち合わせに余念がない、藤原屋副部長（右）と山本副部長に「朝頼んで早くクリアーング屋並み！」



このコーナーの原稿は、ベロス株式会社 藤井孝が担当しました。（商品開発部部長）

大森に決定。観光名所の「パワ―」と「現状」を肌で感じてくることになりました。特に、こんな場合でなければ訪れないであろう「太秦映画村」に期待？その内容報告は、次号の広報誌で…。

今期は拡大部会（フリー参加）の開催が少なくなっており、大変申し訳なく思っております。今期末より来期にかけては月1回のペースでの開催を目指しますので、今後のご参加を心よりお待ちしております。

活動報告
広報部

編集後記に代えて
部会報告&編集秘話！

前年度の状況から、なにわNEWSの編集は、大人数ではできないという結論に至り、18年度は「NEWS編集」と「部会開催」は分けて行う方針とされています。が、7月、10月度は、部会を一度も開催できませんでした（猛省）。

一方のNEWSに関しては、会員さんの顔が見える・声が聞ける紙面づくりを目指し、8月1日付で第20号を発行しました。出稿前日になつて野



このコーナーの原稿は、HAPPY 灰谷幸が担当しました。（副代表幹事・広報部）